

1. シンポジウム

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ & 講師
平成18年 2月7日(火) 参加者 129名 S15	「ゲノム創薬—その医療への応用—」  —演題— ・ゲノム創薬の現状と課題 ・ゲノム機能科学に基づく創薬標的探求 ・ゲノム創薬としての遺伝子治療 ・新規抗癌細胞抗体の作製と展望 ・SNPデータの解析手法と臨床応用 ・癌ゲノム研究から創薬へ	理化学研究所・横浜研究所 研究顧問 豊島 久真男 アンティキヤンサー (株) 日本支社 ジェネラルマネージャー 杉田 憲治  —講師— 日経BP社 バイオセンター センター長 宮田 満 京都大学大学院薬学研究科 ゲノム創薬科学分野 教授 辻本 豪三 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授 森下 竜一 札幌医科大学・学長 内科学第一講座 教授 今井 浩三 東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風セン ター 所長 鎌谷 直之 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター センター長 中村 祐輔

2. セミナー

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ & 講師
平成17年 7月19日(火) 参加者 112名 V1	「睡眠とリズム—遺伝子から行動まで—」  —演題— ・睡眠覚醒の分子機構 ・生体リズムの基盤となる時計遺伝子の分子機構 ・概日リズムと睡眠リズム—2振動体仮説の分子 生物学的基盤— ・サーカディアンCa <sup>2+</sup> 濃度リズムと時計遺伝子 ・ヒスタミンH1受容体欠損マウスの睡眠—覚醒行 動とヒスタミン神経系の変化 ・オレキシン産生神経による睡眠・覚醒状態の 安定化機構 ・長時間覚醒後のリバウンド睡眠の発生機構と その必要性について ・概日リズム睡眠障害—最近の知見—	(財)大阪バイオサイエンス研究所 第2研究部分子行動生物学部門 研究部長 裏出 良博 —講師— (財)大阪バイオサイエンス研究所 第2研究部分子行動生物学部門 研究部長 裏出 良博 神戸大学大学院医学系研究科 脳科学講座 分子脳科学分野 教授 岡村 均 北海道大学大学院医学研究科 総合生理学講座 教授 本間 研一 富山大学理学部 生物学科 生体制御学講座 助教授 池田 真行 (財)大阪バイオサイエンス研究所分子行動 第2研究部分子行動生物学部門 研究員 黄 志力 筑波大学大学院人間総合科学研究科 助教授 桜井 武 早稲田大学 先端バイオ研究所 客員教授 江口 直美 滋賀医科大学医学部精神医学講座 教授 大川 匡子

<p>10月14日(金) 参加者 149名 B18</p>	<p>ブレインサイエンスシリーズ第18回 「ストレスに耐える脳、耐えられない脳」</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳の発達とストレス脆弱性</li> <li>・BDNFとうつ病</li> <li>・ストレスから疲労状態へー疲労の脳科学</li> <li>・慢性ストレスによるうつ病の発症機序と漢方</li> <li>・ストレス関連障害の脳イメージング</li> <li>・PTSDとストレス脆弱性の神経画像解析</li> </ul>	<p>大阪大学大学院医学系研究科 教授 遠山 正彌 和歌山県立医科大学医学部第二解剖 教授 仙波恵美子</p> <p>—講師—</p> <p>山口大学医学部高次神経科学 中村 彰治 千葉大学社会精神保健教育研究センター 病態解析研究部門 橋本 謙二 大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学 渡辺 恭良 国立長寿医療センター研究所老年病研究部 東洋医学研究室 溝口 和臣 東北大学大学院医学系研究科 機能薬理学 谷内 一彦 東京大学大学院医学系研究科 精神医学 笠井 清登</p>
<p>11月22日(火) 参加者 75名 V2</p>	<p>「老化」</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスに対するクロマチン反応としての老化</li> <li>・老化の分子メカニズムとその制御</li> <li>・代謝・老化・寿命を制御するフォークヘッド FOXOファミリーの機能調節</li> <li>・Klotho蛋白が制御する新たな生体応答システム</li> <li>・球状βアミロイド凝集体「アミロスフェロイド」 —形成から毒性の阻止まで</li> <li>・脳の老化の分子メカニズム</li> </ul>	<p>京都大学大学院医学研究科 教授 鍋島 陽一</p> <p>—講師—</p> <p>京都大学大学院生命科学研究所 教授 石川 冬木 東海大学医学部 教授 石井 直明 筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授 深水 昭吉 京都大学大学院医学研究科 教授 鍋島 陽一 三菱化学生命科学研究所 東工大 連携助教授 星 美奈子 東京都神経科学総合研究所 部門長 齊藤 実</p>
<p>平成18年 3月15日(水) 参加者 61名 V3</p>	<p>「クロマチン・ダイナミクスと高次生命現象」</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストン修飾とクロマチンダイナミクスを結ぶ点と線</li> <li>・Nucleosomal Histone Kinase-1によるヒストン H2AのThr119のリン酸化とその意義</li> <li>・ゲノムインプリンティングの機構と個体発生</li> <li>・人工染色体ベクターを用いた細胞機能の制御</li> <li>・細胞記憶の維持と破綻</li> <li>・DNAメチル化による胚発生エピジェネティクス制御</li> </ul>	<p>京都大学大学院生命科学研究所 教授 石川 冬木</p> <p>—講師—</p> <p>京都大学大学院医学研究科先端領域融合医学 研究機構 科学技術振興教授 木村 宏 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病態解析・制御学講座 教授 伊藤 敬 情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 総合遺伝研究系 教授 佐々木 裕之 藤田保健衛生大学総合医科学研究所 人工染色体プロジェクト部門 講師・プロジェクトリーダー 池野 正史 京都大学ウイルス研究所感染症モデル 研究センター 教授 眞貝 洋一 理化学研究所発生・再生科学総合研究 センター チームリーダー 岡野 正樹</p>

### 3. 技術講習会

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ&協賛企業&講師
-----	----------	-----------------

<p>第39回 平成17年 7月28日(木) 7月29日(金) 参加者 29名 G39</p>	<p>プロテオミクス技術講習会「MALDI、ESI、MS/MS、ナノLC、データ解析」</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <p>技術解説： 1. タンパク質の質量分析とプロテオミクス 2. ナノLC/ESI定量プロテオミクス 3. ナノLC/MALDI 4. データの実際と読み方</p> <p>実習 1. MALDI,ESI 2. ナノLC 3. データ解析,データベース検索 4. タンパク質の同定</p>	<p>大阪大学蛋白質研究所プロテオミクス総合 研究センター 教授 高尾 敏文</p> <p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>大阪大学蛋白質研究所プロテオミクス総合研 究センター 高尾 敏文 里見 佳典 神戸大学バイオシグナル研究センター 吉野 健一</p> <p>東京大学医科学研究所コアラボラトリー 蛋白質解析室 福田 宏之</p> <p style="text-align: center;">—協賛企業—</p> <p>ジャスコインターナショナル株式会社 マトリックスサイエンス株式会社 バイオロジカ株式会社</p>
<p>第40回 8月2日(火) 参加者 12名 G40</p>	<p>「RNAiの哺乳動物個体への応用—RNAiトランス ジェニックマウスの作製」</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <p>1. 技術解説 RNAiトランスジーン構築からRNAiトランス ジェニックマウスの作製に関して解説を行う。 また、RNAiトランスジェニックマウスにおけ るsiRNAの検出法などについても解説する。</p> <p>2. 実習 基本的には参加者の実習は行わない。実験に必 要な設備等の見学と、講師によるマイクロイン ジェクション等の実演を行う。</p>	<p>大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験 センター 教授 岡部 勝</p> <p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験 センター 教授 岡部 勝</p> <p>大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験 センター 助手 蓮輪 英毅</p> <p style="text-align: center;">—協賛企業—</p> <p>オリンパス株式会社 インビトロジェン株式会社 株式会社ジーンデザイン 日本クレア株式会社</p>
<p>第41回 9月8日(木) 参加者 31名 G41</p>	<p>「FRAPによる生体内分子のmobility測定」</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <p>技術解説 FRAP測定の原理と実験法、細胞培養と蛍光顕微鏡 に関する留意点</p> <p>実 習 レーザー共焦点顕微鏡および通常の蛍光顕微鏡を 用いたFRAPの測定、mobilityの計算</p>	<p>情報通信研究機構関西先端研究センター 生物情報グループ グループリーダー 平岡 泰</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>情報通信研究機構関西先端研究センター 生物情報グループ グループリーダー 平岡 泰</p> <p>情報通信研究機構関西先端研究センター 生物情報グループ主任研究員 原口 徳子</p> <p>京都大学大学院医学研究科先端領域融合 医学研究機構 特任教授 木村 宏</p> <p style="text-align: center;">—協賛企業—</p> <p>カールツァイス株式会社 セキテクノトロン株式会社</p>
<p>第42回 11月4日(金) 参加者 32名 G42</p>	<p>「SNP、DNAチップの最新技術と応用」</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <p>技術解説 1 : SNP解析の基礎と応用 2 : DNAチップによる解析と最新技術</p> <p>実 習 実際の解析機器での講習とデータ解析</p>	<p>大阪大学大学院医学系研究科 教授 戸田 達史</p> <p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 教授 戸田 達史 東京大学先端科学技術研究センター 教授 油谷 浩幸</p> <p style="text-align: center;">—協賛企業—</p> <p>アフィメトリクス・ジャパン (株) アプライドバイオシステムズジャパン (株)</p>

4. 新適塾

(1) 千里神経懇話会 コーディネーター：大阪大学大学院医学系研究科 教授 遠山 正彌

開催日	テーマ & 演題	オーガナイザー& 講師
第70回 平成17年 6月3日(金) 参加者 51名	「視覚脳-人工網膜から可塑性分子まで」  —演題— ・網膜機能の補綴-人工網膜  ・脳のネットワークを再構成するプロテアーゼ分子の役割 ・夢を見ている脳を見る-レム睡眠中の急速眼球運動に伴う脳活動	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 塩坂 貞夫 物質創成科学研究科 太田 淳  —講師— 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 太田 淳 理化学研究所脳科学総合研究センター 神経回路発達研究チーム 俣賀 宣子 情報通信研究機構 関西先端研究センター 脳情報グループ 宮内 哲
第71回 7月11日(月) 参加者 56名	「神経軸索の変性と再生の制御 —最近の話題から—」  —演題— ・新たなマクロファージ遊走因子Reg/PAPファミリーによる神経再生 ・軸索保護による神経変性疾患の治療を目指して	大阪市立大学大学院医学研究科 木山 博資  —講師— 旭川医科大学解剖学第一講座 濤川 一彦 国立精神・神経センター神経研究所 荒木 敏之
第72回 9月15日(木) 参加者 54名	「神経変性疾患の新規治療法開発への試み」  —演題— ・神経変性疾患における細胞死とCaspase4  ・Aβオリゴマーを標的としたアルツハイマー病の治療法開発 ・蛋白質構造異常・凝集を標的としたポリグルタミン病の治療戦略	大阪大学大学院医学系研究科 森 泰丈・井上 浄  —講師— 大阪大学大学院医学系研究科 神経機能形態学 松崎 伸介 国立長寿医療センター研究所 松原 悦朗 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝学 永井 義隆
第73回 11月28日(月) 参加者 42名	「成熟脳における細胞多様性」  —演題— ・成熟大脳皮質におけるOlig2陽性細胞について  ・成熟終脳皮質内での細胞新生とその分化 —神経興奮に依存して— ・多能性前駆細胞としてのNG2陽性マイクログリア	奈良県立医科大学医学部解剖学第二講座 和中 明生  —講師— 奈良県立医科大学医学部解剖学第二講座 辰巳 晃子 関西医科大学大学院医学研究科 解剖学第一講座 田村 泰久 愛媛大学医学部分子細胞生命科学講座 田中 潤也
第74回 平成18年 1月27日(金) 参加者 37名	「脳神経障害の基礎研究から臨床研究まで」  —演題— ・神経幹細胞の分化・増殖における脂質メディエーターの作用 ・内因性tPAと虚血性脳障害  ・脳保護戦略の近未来	大阪大学大学院歯学研究科 上崎 善規  —講師— 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔因病態制御学講座(薬理学教室) 和田 孝一郎 浜松医科大学薬理学講座 梅村 和夫 広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態探究医科学講座脳神経内科学 松本 昌泰

<p>第75回 3月20日(月) 参加者 52名</p>	<p>「ペインリサーチにおける新知見 Part8－ATPと疼痛－」</p> <p>－演題－</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>末梢神経傷害後のATP受容体発現の変化</li> <li>脊髄ミクログリアのATP受容体から見出した新しい神経因性疼痛機序</li> <li>末梢神経障害後のノルアドレナリンによるATP受容体の調節機構</li> <li>細胞外ATPによる感覚情報伝達の制御機構</li> </ul>	<p>兵庫医科大学医学部解剖学第二講座 野口 光一</p> <p>－講師－</p> <p>兵庫医科大学医学部 解剖学第二講座 小林 希実子</p> <p>九州大学大学院薬学研究院医療薬科学部門 薬効解析学分野 津田 誠</p> <p>兵庫医科大学医学部生理学第二講座 中山 寛、西崎 知之</p> <p>佐賀大学医学部生体構造機能学講座 神経生理学分野 中塚 映政</p>
--	---	--

(2) 21世紀の薬箱

開催日	テーマ & 演題	世話人 & 講師
<p>第65回 平成17年 6月2日(木) 参加者 48名</p>	<p>「新しい手法による培養困難な細菌の検出と医薬品の微生物管理への応用」</p>	<p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫</p> <p>－講師－ 大日本製薬(株) 技術研究センター 川井 真好</p>
<p>第66回 7月22日(金) 参加者 31名</p>	<p>「病原細菌のゲノムレベルでの比較による病原性や薬剤耐性の解析」</p>	<p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫</p> <p>－講師－ 京都薬科大学 微生物学教室 小川 倫洋</p>
<p>第67回 10月17日(月) 参加者 51名</p>	<p>新しい治療戦略(20) 「疾患関連たんぱく質・プロテオームの解析と創薬、疾病治療への展望」</p> <p>－演題－</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疾患関連たんぱく質の探索・解析とその有効活用</li> <li>フェージ表面提示法を利用した創薬基盤技術の開発</li> <li>血液・血管疾患における疾患関連たんぱく質とその機能解析</li> </ul>	<p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 中川 晋作</p> <p>－講師－ 医薬基盤研究所、大阪大学大学院薬学研究科 堤 康央 医薬基盤研究所 角田 慎一 医薬基盤研究所、三重大学医学部 鎌田 春彦</p>
<p>第68回 11月10日(木) 参加者 29名</p>	<p>「欧州薬局方における微生物試験法の動向」</p>	<p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫</p> <p>－講師－ European Pharmacopoeia/European Directorate for the Quality of Medicines Emmanuelle Charton, Ph.D.</p>
<p>第69回 平成18年 1月31日(火) 参加者 51名</p>	<p>新しい治療戦略(21) 「遺伝子機能解析のためのベクター開発と遺伝子治療への展開」</p> <p>－演題－</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子機能解析のための次世代アデノウイルスベクターの開発</li> <li>35型アデノウイルスを基盤とした新規遺伝子導入用ベクターの開発</li> <li>アデノウイルスベクターと生体の相互作用解析－自然免疫を中心に－</li> </ul>	<p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 中川 晋作</p> <p>－講師－ 医薬基盤研究所、大阪大学大学院薬学研究科 水口 裕之 医薬基盤研究所 櫻井 文教 医薬基盤研究所 川端 健二</p>

第70回 3月3日(金) 参加者 21名	『材料科学の面から見た「薬」』	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫  —講師— 大阪大学大学院薬学研究科 助教授 川瀬 雅也
-------------------------------	-----------------	---

5. 千里ライフサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

開催日	テーマ & 演題	講師
第43回 平成17年 6月18日(土) 参加者 167名	『狭心症と心筋梗塞』  —演題— ・開催にあたって ・狭心症と心筋梗塞はどのような病気か骨粗鬆症と高齢者の身長低下について ・経皮的冠動脈形成術（冠動脈のカテーテル治療）の現状—薬物溶出性ステントで血行再建術は変わる？— ・心臓発作から貴方の大切な人を救うため—心肺蘇生法とAEDについて—	コーディネータ：国立循環器病センター 名誉総長 尾前 照雄 緊急部 部長 野々木 宏  —講師— (財)千里ライフサイエンス振興財団 理事長 岡田 義雄 熊本加齢医学研究所 所長 泰江 弘文  国立循環器病センター 心臓血管内科 CCU医長 宮崎 俊一  国立循環器病センター 緊急部 部長 野々木 宏
第44回 8月20日(土) 参加者 60名	『歯と身体の健康と病気』  —演題— ・8020の意義 ・歯周病と全身の病気 ・咀嚼と健康	コーディネータ： 国立循環器病センター名誉総長 尾前 照雄  —講師— 国立保健医療科学院口腔保健部 部長 花田 信弘 (財)博慈会 博慈会記念総合病院 歯科口腔外科 医長 宮田 諭 (医)白十字病院歯科口腔外科 顧問 都 温彦
第45回 平成18年 2月25日(土) 参加者 132名	『肺ガンの予防と治療』 —なぜ最近肺がんがふえているか？—  —演題— ・肺がん対策の決め手：たばこ規制 ・肺がんの診断と外科治療 ・肺がんの内科治療と緩和医療	コーディネータ： 国立循環器病センター名誉総長 尾前 照雄 (独)国立病院機構 刀根山病院呼吸器外科 部長 前田 元  —講師— 大阪府立成人病センター 調査部 部長 大島 明 (独)国立病院機構 刀根山病院呼吸器外科 部長 前田 元 (独)国立病院機構 刀根山病院呼吸器内科 部長 横田 総一郎

6. 千里ネイチャー・カレッジ

回数/開催日	テーマ	参加者	
		生徒	指導員
第1回 平成17年 5月21日(土)	『野鳥・昆虫・植物の観察』 箕面駅→みのお山荘→オケ原池→こもれびの森 →地獄谷→箕面駅（4.5km）	38名	30名
第2回 7月9日(土)	『サルを観察(Ⅰ)』 箕面駅⇔滝安寺⇔箕面滝⇔百年橋⇔天上ヶ谷 (サルの餌場) (往復7.5km)	34名	31名

第3回	10月22日(土)	『サルの観察(Ⅱ)& シンクスタディーと修了式』 箕面駅⇄滝安寺⇄箕面滝⇄百年橋⇄天上ヶ谷 (サルの餌場) (往復7.5km) (チャーターバスにて千里ライフサイエンスセンターへ) シ ンクスタディーと修了式	34名	35名
-----	-----------	--	-----	-----

7. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	テーマ・演題	講師	参加者
153回 平成17年 4月22日(金)	『近代の能楽とそのパトロンー野村得庵の能楽愛好ー』	大阪大学大学院文学研究科 教授 天野 文雄	26名
154回 5月20日(金)	『極限環境微生物の多様な能力とその利用』	京都大学大学院工学研究科 教授 今中 忠行	33名
155回 6月24日(金)	『世界からみた日本の庭園』	国際日本文化研究センター 教授 白幡 洋三郎	32名
156回 7月15日(金)	『実践のコーチング ー箱根駅伝・アテネオリンピックー』	順天堂大学スポーツ健康科学部 学部長・教授 澤木 啓祐	102名
157回 8月18日(木)	『血栓症はどのようにして起きるのか?』	三重大学大学院医学系研究科 教授 鈴木 宏治	51名
158回 9月16日(金)	『東南海・南海地震と減災戦略』	京都大学防災 研究所 所長・教授 河田 恵昭	57名
159回 10月21日(金)	『司馬 遼太郎のこと』	司馬遼太郎記念館 館長 上村 洋行	43名
160回 11月18日(金)	『木の建築をつくる工人の技と心』	(財)竹中大工道具館 学芸部長 渡邊 晶	34名
161回 12月16日(金)	『WT1ペプチドを用いた癌の免疫療法』	大阪大学大学院医学系研究科 教授 杉山 治夫	37名
162回 平成18年 1月20日(金)	『古代エジプトビールの再現』	キリンビール(株)生産本部 テクノアカデ ミー 所長代理 米澤 俊彦	38名
163回 2月22日(水)	『モンゴル人の強さを食に探る』	国立民族学博物館 教授 小長谷 有紀	38名
164回 3月17日(金)	『太陽光発電の最近の進歩とその将来展望』	立命館大学 総長顧問・教授 濱川 圭弘	33名